

最新防犯用品

1人暮らしや共働き、高齢世帯が増える中、空き巣などの被害に遭わないよう防犯対策はますます重要だ。安全・安心な暮らしを支える防犯グッズもさまざまな商品が発売されている。指紋を読み取って解錠するドアや高機能のカメラなど、最新の防犯事情を取材した。

（川本浩太郎、大庭麻依子）

◆100人分を登録

北九州市内で飲食店を経営する女性（75）は、同市小倉北区の自宅マンションの玄関ドアに手の指紋で解錠する電子錠「FINGERGUARD」を付けた。「鍵をなくしたり、掛け忘れたりす

る心配がない。（指紋を登録した）家族が自由に出入りできるのも便利です」

近頃のマンションが玄関の錠を壊され空き巣に入らされたと聞き、心配になったという。費用は、キャンペーン価格で工事費を含め約25万円。「長い目で見れば、高いとは思わない」と

販売代理店ハンテック（福岡市）の久野滋営業部長は「指紋は一人一人異なり、一生変わらないので、鍵として使える。指の状態などで指紋が読み取りにくい人は、暗証番号やカードキーも使える」と話す。扉を閉めると自動的に施錠されるので、鍵を掛け忘れる心配がない。鍵穴がないので壊すのも難しいという。工事費を除く本体価格が30万円程度かかるのが課題。久野部長は「2013年までに福岡市内での世帯普及率70%が目標。当面はできるだけ安い価格での販売を検討している」と言う。

外観損なわず 防犯カメラも新製品が登場。日本防犯システム（福岡市）が販売している「PJ-FITTEE」（メーカー希望小売価格16万8千円）は、夜間や暗い場所でも鮮明な映像が撮影できる。58倍に上げる機能や、逆光でも鮮明に撮れる機能を備えた。

また、住宅の外観を損なわないようデザインにもこだわった。ホワイトやオレンジ、ゴールドなど全6色のカラーバリエーションを用意。昨年、独自性・デザイン性に優れた商品などを表彰する「福岡産業デザインアワード」に

保志和範副店長は「防犯カメラとセンサーライトを併用することで、より防犯効果が高まるのではないかとしている。」

車用警報器も 車上荒らしも身近な問題。自動車用呉手のオートバックス（東京）各店では、車に取り付ける盗難警報器が売れ筋だ。車両への衝撃などを感知すると警報音を発する。中には不正なエンジンスタートやドアのこじ開けを感知して警報を発したり、無線で所有者に異常を知らせる機能が付いた装置もある。



①指紋を認識する電子錠を取り付けた玄関。鍵を使わずに解錠できる。②解錠は、ドアノブに指を当てるだけで済む。

玄関鍵 指紋読み取り解錠 色、デザイン重視

監視カメラ

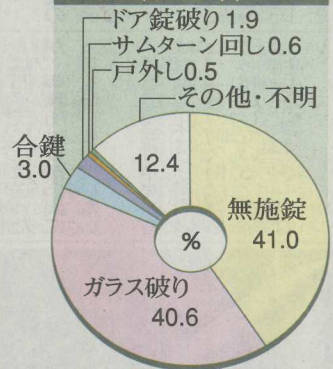
豊富な色やデザインにこだわった防犯カメラ「カメラキー」



また、住宅の外観を損なわないようデザインにもこだわった。ホワイトやオレンジ、ゴールドなど全6色のカラーバリエーションを用意。昨年、独自性・デザイン性に優れた商品などを表彰する「福岡産業デザインアワード」に

納得経済楽

侵入窃盗の侵入手段 (2009年)



※侵入窃盗の総数は8万5228件

警察庁によると、2009年の侵入窃盗件数は、前年比9.0%減の8万5228件。侵入の手段は、「無施錠の入り口から(41.0%)と「ガラス破り」(40.6%)が大半を占め、次いで「合鍵」、「ドア錠破り」が続く。

侵入窃盗の手口 「無施錠狙い」多く

「サムターン回し」による侵入件数が、同5.25倍の163件と増加している。車上荒らしの件数は、同7.1%減の14万3863件。発生場所は「月決めやスパーなどの駐車場」が8万9119件と最も多い。また、施錠せずに被害に遭ったのは5万4622件で、全体の38.0%を占める。